



フィールドサイエンスセンター 体験演習 ～大自然の中で生物資源学を学ぶ宿泊 実習～

実験室だけではわからない、野外での調査研究を体験！

食糧問題や環境問題などを解決するには、自然と人間が交わる場である「フィールド」を総合的に理解する、広い視野を持った人が求められます。

三重県は田園や海岸、森林など、豊かな風土に恵まれていま

すが、生物資源学部にはその自然を相手にする四つの附属施設—農場、演習林、水産実験所、練習船「勢水丸」があります。

本学部では一年生に入学した最初の夏休みに、これら四つの施設の一つに宿泊し、自然の中で環境や食糧問題を学ぶ、「フィ

ールドサイエンスセンター体験演習」を行っています。学生は、教室や実験室だけではわからないフィールドサイエンスを体験し、新たな発見をしたり、研究についての興味をわかせたり、陸と海のフィールドから生物資源に対する理解を深めています。



三重大学生物資源学部・教授
紀伊・黒潮生命地域
フィールドサイエンスセンター長
大原 興太郎
Ohara, Kotaro
【URL】 <http://takatora.bio.mie-u.ac.jp/fsc/>



耕作機械の操作訓練



松阪牛「よしふく」体重390kgです



森に続く小道



いかだの下の魚を観察



農場

豊かな田園と果物畑が広がっています。イネをはじめとする植物や昆虫などの観察、安全な畜産物生産、農作業と機械の操作などについて学びます。

演習林

緑ゆたかで、たっぷり森林浴。「癒し」の空間。森林に分け入って天然林と人工林を比較観察したり、常に変化する源流と森林のダイナミズムを体感し、森林がもつ流域を保全するしくみを学びます。

練習船「勢水丸」

穏やかな海況の伊勢湾を航海し、海洋・気象観測やプランクトンネットなどを用いた生物採集を昼夜行います。新鮮な魚に巡り会えることも？

水産実験所

磯の生物の観察や水中の酸素量の測定などの実習を通し、海洋生物の不思議や海洋環境が抱える問題点について学びます。

フィールド



「船に乗るための心得その一」



底引き網で海底調査